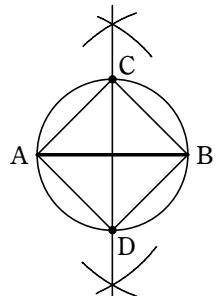


## 問題2

次の問い合わせよ。ただし、(1), (2)において、作図に使った線は消さずに残しておくこと。また、作図の手順を併せて書くこと。

例題) 線分ABを対角線とする正方形をかけ。

解答)



(作図の手順)

- ① 線分ABの垂直二等分線をかく。
- ② 線分ABを直径とする円をかき、この円と①の垂直二等分線との交点をC, Dとする。
- ③ 線分AC, AD, BC, BDをかく。

- (1) 円Oと、円Oの外部の点Pが与えられたとき、点Pを通り、円Oに接する直線を作図せよ。
- (2) 互いに外接する2円O<sub>1</sub>, O<sub>2</sub>が与えられたとき、2円O<sub>1</sub>, O<sub>2</sub>が共に内接する円Oをかけ。ただし、円O<sub>1</sub>, O<sub>2</sub>の少なくとも一方の中心は、円Oの直径上に存在しないようにすること。
- (3) 次の命題を証明せよ。

【命題】平面上に△ABCと点Dが存在し、△ABCの外接円をOとする。点Dが直線ACについて点Bの反対側に存在し、かつ、 $\angle DAC = \angle ABC$ が成り立つならば、直線ADは円Oに接する。

- (4) 平面上にO, O<sub>1</sub>, O<sub>2</sub>が存在する。2円O<sub>1</sub>, O<sub>2</sub>は点Aで外接し、かつ円Oにそれぞれ点B, Cで内接する。

2円O<sub>1</sub>, O<sub>2</sub>の共通接線のうち点Aを通るものを $\ell$ とする。直線 $\ell$ と円Oの交点をP、線分BPと円O<sub>1</sub>の交点をD、線分CPと円O<sub>2</sub>の交点をEとするとき、直線DEは2円O<sub>1</sub>, O<sub>2</sub>の共通接線であることを証明せよ。

【参考図】

(1)

(2)

